別記様式１－３

痘　そ　う　発　生　届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長）　殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第１項（同条第６項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日　令和　　年　　月　　日

医師の氏名

従事する病院・診療所の名称

上記病院・診療所の所在地(※)

電話番号(※)　　　　　（　　　　　　）　　　　　　－

（※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １　診断（検案）した者（死体）の類型 | | | | |
| ・患者（確定例）　・無症状病原体保有者　・疑似症患者　・感染症死亡者の死体　・感染症死亡疑い者の死体 | | | | |
| ２　当該者氏名 | ３　性別 | ４　生年月日 | ５　診断時の年齢（０歳は月齢） | ６　当該者職業 |
|  | 男・女 | 年　　月　　日 | 歳（　　　か月） |  |
| ７　当該者住所  電話（　　　）　　－ | | | | |
| ８　当該者所在地  電話（　　　）　　－ | | | | |
| ９　保護者氏名 | 10　保護者住所　　　（９、10は患者が未成年の場合のみ記入） | | | |
|  | 電話（　　　）　　－ | | | |

この届出は診断後直ちに行ってください

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 11  症  状 | ・発熱　　・頭痛　　・四肢痛　・腰痛  ・紅斑　　・丘疹　　・水疱　　・結痂　　・落屑  ・膿疱　　・疼痛　　・灼熱感　・瘢痕  ・その他（  　　　　　）  ・なし | 18　感染原因・感染経路・感染地域 |
| ①感染原因・感染経路（　確定・推定　）  １　飛沫・飛沫核感染（感染源の種類・状況：  　 　　　　　　　）  ２　接触感染（接触した人・物の種類・状況：  　　　　　　　 ）  ３　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　 　  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）  ②感染地域（　確定　・　推定　）  １　日本国内（　　　都道府県　　　　市区町村）  ２　国外（　　　　　　　　国  詳細地域　　　　　　　　　　　　　）  ※　複数の国又は地域が該当する場合は全て記載すること。  渡航期間（出国日　年　月　日・入国日　年　月　日  国外居住者については　入国日のみで可） |
| 12  診断方法 | ・電子顕微鏡での観察による病原体の検出  　　検体：水疱・膿疱・痂皮・咽頭拭い液・血液・  その他（　　　　　　　　　　 　　　　　）  ・分離・同定による病原体の検出  検体：水疱・膿疱・痂皮・咽頭拭い液・血液・  その他（　　　　　　　　　　 　　　　　）  ・蛍光抗体法による病原体抗原の検出  検体：水疱・膿疱・痂皮・咽頭拭い液・血液・  その他（　　　　　　　　　　 　　　　　）  ・検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出  検体：水疱・膿疱・痂皮・咽頭拭い液・血液・  その他（　　　　　　　　　　 　　　　　）  ・その他の方法（　　　　　　　　　　　　　　　　　）  　　検体（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  　　結果（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・臨床決定（　　　　　　　　　　　　　　　　 　） |
|
|
|
|
| 13　初診年月日　　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日  14　診断（検案(※)）年月日　　　　令和　　年　　月　　日  15　感染したと推定される年月日　　令和　　年　　月　　日  16　発病年月日（＊）　　　　　　　令和　　年　　月　　日  17　死亡年月日（※）　　　　　　　令和　　年　　月　　日 | | 19　その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために  医師が必要と認める事項 |
|  |

（1，3，10,11,17欄は該当する番号等を○で囲み、4，12から17欄は年齢、年月日を記入すること。

(※)欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。(＊)欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。

11, 12欄は、該当するものすべてを記載すること。）